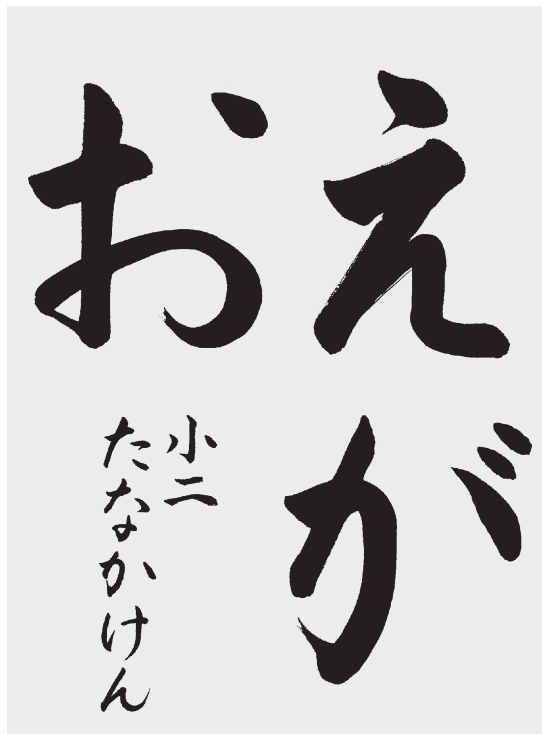


〔11月9日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。  
(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

小学2年参考手本



佐藤菜扇先生

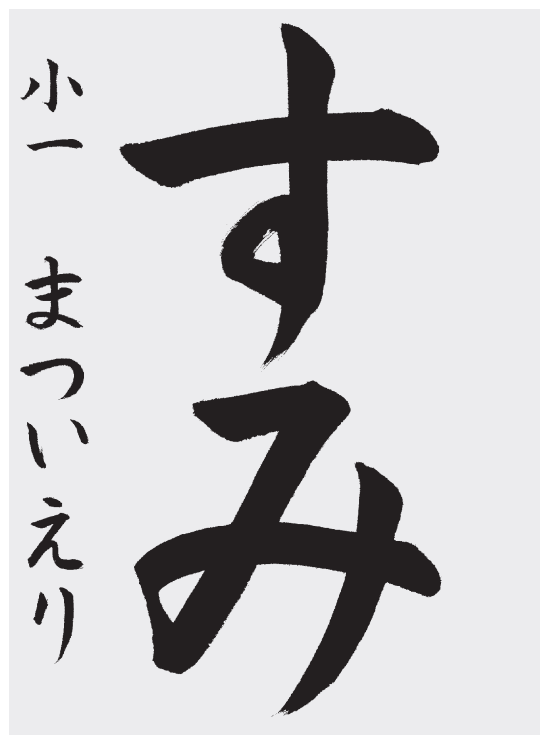
幼・小学1年参考手本



半田藤扇先生



田守光昭先生



大平邑峰先生

〔11月9日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学4年参考手本



加瀬澄春先生



種谷萬城先生

小学3年参考手本



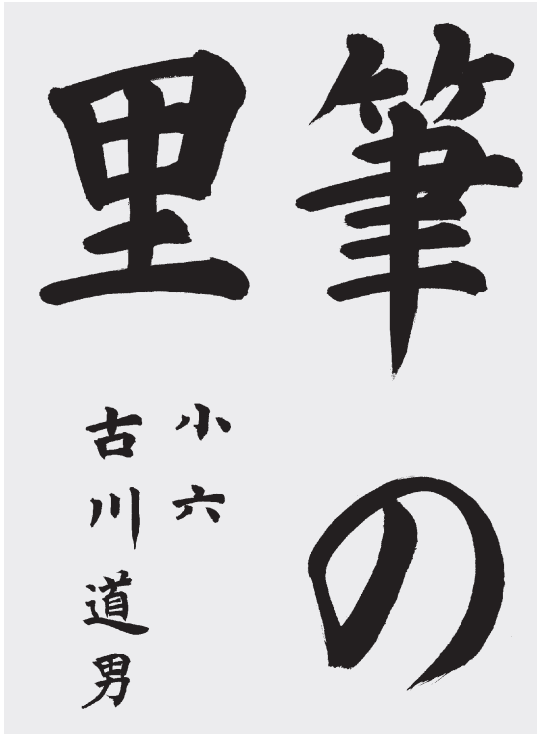
白石和楓先生



橋本玉扇先生

〔11月9日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学6年参考手本



辻元大雲先生

小学5年参考手本



小林琴水先生



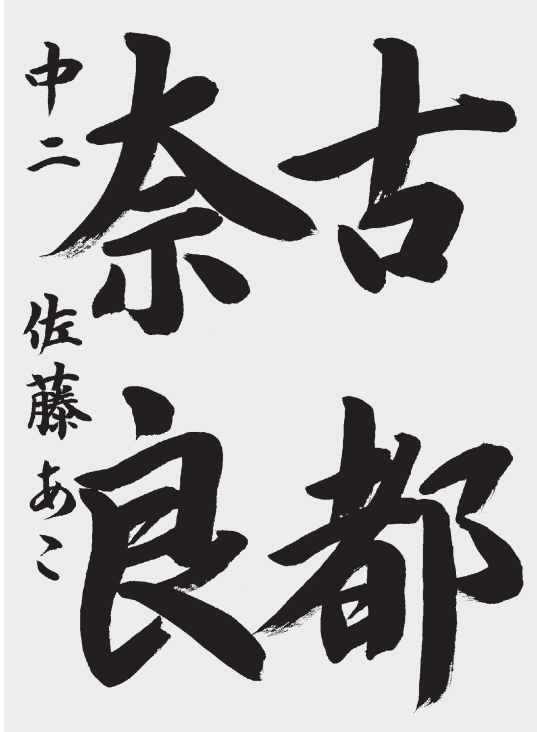
山口仙草先生



島田白露先生

〔11月9日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

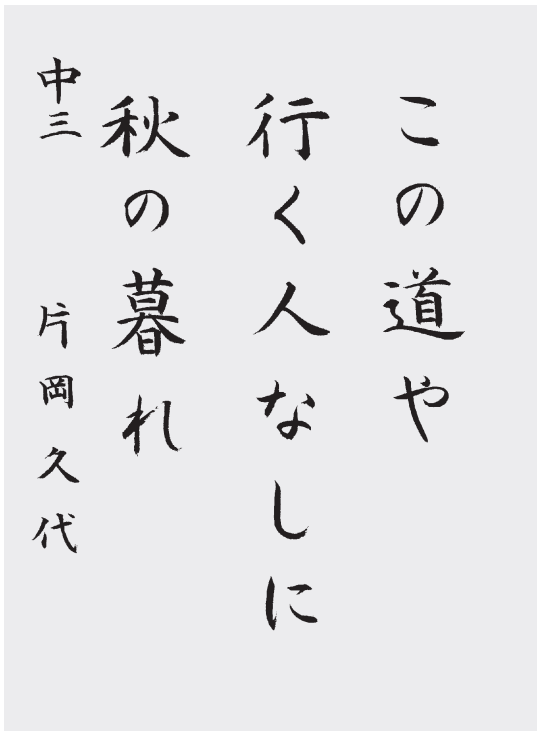
中学全学年参考手本（中学生は、どの課題を書いてもかまいません。）



千葉蒼玄先生



後藤大峰先生



小竹石雲先生



広瀬舟雲先生

# 毛筆参考手本解説(1)

1年

中心  
は

つなげるように  
丸みを  
もたせる

「こが大切」  
「一」では、筆を一度止めて、  
ほ先の向きを変える。  
筆のじくは回さない。

波波波は

中心  
すみ

はらう

寸すすす  
美羨羨み

2年

あける

中心  
おえ

とめる

衣衣衣え  
於於於お

加加加か

濁音  
始筆  
送筆  
終筆

中心  
タム

タ多  
ム夕

「縦の結び」の筆使い  
①軽く止めて、力やぬきながら、  
左上へおし上げる。  
②軽く止めて、ゆっくり方向を  
変える。

「横の結び」の筆使い  
①だんだん左上に  
曲げる。  
②軽く止めて、ほ  
先の向きを変える。

3年

中心  
周

同じ間かくで

中心  
光

下の始筆は横画の  
下に浅く接する

【曲がり】  
曲がるところで  
方向を変える。  
ほ先は左から  
上にうつる。

スー  
ピタッ

中心  
大

長く

中心  
切

一七切切

4年

中心  
成

内側にそって  
左下に払う

中心  
功

「エ」は小さくし三画めは右上に払う

中心  
家

家は小さくし三画めは右上に払う

中心  
族

そりは右にふくら  
まさせてはねる

中心  
族

左を長く

5年

中心  
風

そる

中心  
景

最大幅に

中心  
連

「日」「口」はへん平にする

中心  
合

車は中心より右側に

中心  
合

そる

中心  
合

そる

中心  
合

そる

毛筆参考手本解説(2)

6年

中学

筆
<筆順>
筆の横画は等間隔に

の
<字源>
乃乃の

里
<筆順>
<許容>
はなす

立
<筆順>
<許容>
方向
点
払い

派
<筆順>
シシシシ派派
シの点画間は「許容」
一对二の割合
に、シは幅を狭くする

な
<字源>
奈ななな

人
<筆順>
ノ人

白
<筆順>
白白白白
<許容>
はなす

然
<筆順>
クタタ然然
<許容>
止め

科
<筆順>
ニ千禾科科
<許容>
止め
はね

学
<筆順>
<最大幅>
やさしい行書

答
終筆の変化

つながる
気持ちで

案
終筆の変化
女の筆順
少女

古
<筆順>
古
曲線的で次につながる

都
次につながる

奈
終筆の変化

良
<筆順>
良良
(行) (楷)
終筆の変化

この道や
行く人なしに
秋の暮れ

この道や
行く人なしに
秋の暮れ

この道や
行く人なしに
秋の暮れ

松尾芭蕉
<作者>

<現代語訳>

秋の夕暮れどき、一筋のこの道を行く人は絶え、あたりに夕闇が漂って寂しく静まり返っている。

<季語>
秋の暮れ：秋

ひらがなの字源 (348)

|   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |
|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|
| れ | に | し | な | く | や | の | こ | 源字 | 字形 |
| 礼 | 仁 | 之 | 奈 | 久 | 也 | 乃 | 己 |    |    |
| 社 | 仁 | 之 | 奈 | 久 | 也 | 乃 | 己 |    |    |
| 礼 | 社 | 之 | 奈 | 久 | 也 | 乃 | 己 |    |    |
| れ | に | し | な | く | や | の | こ |    |    |

書写教育
全国大学書写書道教育学会編より転載

※源字については、異字体から変遷したものに\*印を付して()にその字体を記した。
※字形は古筆から抽出した。上段には源字に近い草仮名を配し、中・下段にはその変遷過程等を配した。

〔11月9日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学2年

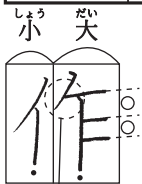
幼・小学1年

硬筆参考手本

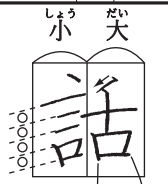
解説 辻元大雲先生

|       |   |   |   |  |
|-------|---|---|---|--|
| 支 部 名 |   |   |   |  |
|       |   | 本 | お |  |
|       |   | を | 話 |  |
| 段・級   |   | 作 | を |  |
|       |   | り | よ |  |
| 学 年   |   | ま | ん |  |
|       | 二 | し | で |  |
| 名 前   |   | よ |   |  |
|       | 三 | う |   |  |
|       | 田 |   | 絵 |  |
|       | 村 |   |   |  |
|       | そ |   |   |  |
|       | う |   |   |  |
|       | す |   |   |  |
|       | け |   |   |  |

|        |   |   |  |  |
|--------|---|---|--|--|
| 支 部 名  |   |   |  |  |
|        |   | は |  |  |
|        |   | し |  |  |
| だん・きゅう |   | っ |  |  |
|        |   | て |  |  |
| がくねん   |   | い |  |  |
|        | 一 | ま |  |  |
| なまえ    |   | す |  |  |
|        | か |   |  |  |
|        | ま |   |  |  |
|        | た |   |  |  |
|        | ひ |   |  |  |
|        | よ |   |  |  |
|        | り |   |  |  |



せつするいちにちゅうい

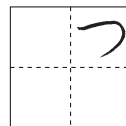


よこが出る  
下が出る

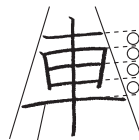


「へん」小  
「つくり」大

〔絵本〕  
「へん」と「つくり」の組み立てにちゅういして字形を正しく書きましよう。



そくおん  
(小さくかく字)の  
いちにちゅうい



ながく



てんのいちにちゅうい  
のびやかにはらう

〔じどう車〕  
「車」をただしくかきましよう。

〔11月9日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学4年

|         |   |  |   |
|---------|---|--|---|
| 支 部 名   | 研<br>究<br>発<br>表<br>を<br>し<br>ま<br>し<br>た。<br>。 | 真<br>な<br>ど<br>を<br>見<br>せ<br>な<br>が<br>ら<br>。 | 具<br>体<br>的<br>な<br>物<br>や<br>絵<br>、<br>写 |
| 段・級     |   |  |   |
| 学 年     |   |  |   |
| 名 前     |   |  |   |
| 木 戸 陽 登 |   |  |   |

小学3年

|           |                                      |                                 |   |
|-----------|--------------------------------------|---------------------------------|---|
| 支 部 名     | 味<br>の<br>ち<br>が<br>う<br>言<br>葉<br>。 | 同<br>じ<br>発<br>音<br>で<br>も<br>。 | 意 |
| 段・級       |                                      |                                 |   |
| 学 年       |                                      |                                 |   |
| 名 前       |                                      |                                 |   |
| 三 原 口 葉 月 |                                      |                                 |   |

「研究発表」  
「はね」や「はらい」の方向に気をつけて漢字を書きましよう。

中心  
写  
「筆順」  
一一 写写  
一一 一画で書く

表  
「はらい」の方向と長さに注意  
短くならないように  
「筆順」  
一十 圭 圭  
表 表 表

究  
「はらい」の方向と長さに注意  
短くならないように  
「筆順」  
一十 圭 圭  
表 表 表

「発音」  
「発」の形を正しく、ととのえて書きましよう。

みじかい  
味  
「つくり」大きく  
（左右のはらいの方向）  
「へん」小さく  
長い  
長い

葉  
「筆順」  
一一 写写  
一一 一画で書く

発  
「筆順」  
一十 圭 圭  
表 表 表



〔11月9日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学6年

小学5年

|     |   |   |   |
|-----|---|---|---|
| 支部名 |   |   |   |
|     | が | 造 |   |
|     | 増 | す | 楽 |
| 段・級 | え | る | し |
|     | ま | と | い |
| 学年  | す |   | 学 |
|     | 。 |   | 級 |
| 名前  |   | 利 | 文 |
|     |   | 用 | 庫 |
|     |   | す | に |
|     |   | る | 改 |
|     |   | 人 |   |
|     | 本 |   |   |
|     | 城 |   |   |
|     | 夏 |   |   |
|     | 希 |   |   |

|     |   |   |   |
|-----|---|---|---|
| 支部名 |   |   |   |
|     | た | の |   |
|     | 本 | 歴 | 図 |
| 段・級 | を | 史 | 書 |
|     | 読 | に | 館 |
| 学年  | み | つ | で |
|     | ま | い |   |
| 名前  | ま | て | 二 |
|     | し | 書 | 十 |
|     | た | か | 世 |
|     | 。 | れ | 紀 |
|     |   |   |   |
|     |   |   |   |
|     | 仲 |   |   |
|     | 田 |   |   |
|     | 友 |   |   |
|     | 成 |   |   |

増

田をへん平に  
土(つちへん)小さく  
横分間をそろえて

改

丸みをもたせながら方向を変える  
まがり コゴビビ改改  
〈筆順〉

楽

左右のはらいの方向に注意して  
つりあいよく  
〈筆順〉  
白 泊 楽

〔学級文庫〕  
字形を正しく、字配りよく書きましょう。

歴

二画目とつりあうようにはらい  
ましよう  
〈筆順〉  
接し方に注意 一 厶 厶 厶 厶 厶 厶

世

接し方に注意  
〈筆順〉  
一 十 十 廿 世

図

たてが出る  
〈筆順〉  
□ 冂 囧 囧 囧

〔歴史〕  
組み立て方に注意して、字形を整えましょう。

〔11月9日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

中学生（行書）

中学生（楷書）

※書写用具は、えんぴつ、フェルトペン、ボールペン。筆ペンは不可。

|     |     |  |  |  |  |
|-----|-----|--|--|--|--|
| 支部名 |     |  |  |  |  |
| 段・級 |     |  |  |  |  |
| 学年  | 中二  |  |  |  |  |
| 名前  | 佐々木 |  |  |  |  |
|     | 紬   |  |  |  |  |

現  
できたら名人といえよう。

竹林の中を過ぎていく風の音を表

日本古来の楽器に尺八がある。

|     |     |  |  |  |  |
|-----|-----|--|--|--|--|
| 支部名 |     |  |  |  |  |
| 段・級 |     |  |  |  |  |
| 学年  | 中二  |  |  |  |  |
| 名前  | 佐々木 |  |  |  |  |
|     | 紬   |  |  |  |  |

現  
できたら名人といえよう。

竹林の中を過ぎていく風の音を表

日本古来の楽器に尺八がある。

(楷) 中 ⇕ (行) 中

(楷) 表 ⇕ (行) 表

風 言 方向の変化

・行書のワンポイントアドバイス  
楷書に比べて、のびやかに流れを  
意識した筆使いで書く。

「名人」  
「かな」は漢字よりも少し小さめに書きま  
しょう。

内側に  
むける  
高は中心より右側に

中心  
風  
そのる

中心  
過  
あける

①②③  
リズムで

虫は几から下に出ないように。

筆順  
ノ 凡 凡 風 風

筆順  
口 田 田 丹 過 過 過 過

竹林の中を過ぎていく風

## これからの作品締切日と課題

令和2年12月号～3年3月号までの作品締切日と毛筆課題

| 中学生<br>(全学年共通) |      | 小6   | 小5   | 小4   | 小3   | 小2  | 幼・小1 | 締切日   |     |
|----------------|------|------|------|------|------|-----|------|-------|-----|
| 見聞を広める         | 天守閣  | 飼育係  | 星ふる夜 | 仲間   | 広がり  | つばさ | き    | 12月6日 | 12月 |
| うつつなり          | 飛行機雲 | 喜びの声 | 成り立ち | わさび  | 安全   | かもめ | ふゆ   |       |     |
| 破竹の勢い          | 剛健   | 私の決意 | 百人一首 | 生きる力 | うし年  | おせち | ね    | 1月7日  | 1月  |
| ふじのたかねに        | 晴耕雨読 | 豊かな夢 | 理想   | 初春   | 自由   | 牛   | もち   |       |     |
| 美しい梅林          | 観測   | 常識   | 栄光   | 発表   | よろこび | ゆびわ | せ    | 2月7日  | 2月  |
| ゆきはふりつつ        | 横断歩道 | 世界旅行 | 文庫   | 点画   | 図工   | ポスト | やま   |       |     |
| 不断の努力          | 古今集  | 希望の春 | 約束   | お手伝い | 花だん  | きずな | む    | 3月8日  | 3月  |
| 菜の花や月は東に日は西に   | 平家納経 | 平和運動 | 周囲   | 美しい花 | 作文   | ビデオ | てん   |       |     |

12月号の硬筆課題 ※硬筆課題は、翌月課題のみ掲載しております。

幼・小1

|    |    |
|----|----|
| わ  | 手  |
| をつ | をつ |
| く  | ない |
| ろ  | いで |
| う  | 。  |

小 2

|    |   |
|----|---|
| 池  | 森 |
| まで | の |
| 走  | 小 |
| り  | 道 |
| ま  | を |
| し  | 通 |
| た  | っ |
| 。  | て |

小 3

|    |   |
|----|---|
| 書  | 漢 |
| いた | 字 |
| 本  | の |
| を  | な |
| 読  | り |
| ん  | 立 |
| だ  | ち |
| 。  | を |

小 4

|   |   |   |
|---|---|---|
| 物 | 葉 | 作 |
| に | に | 品 |
| 注 | 気 | の |
| 目 | を | 中 |
| し | っ | の |
| て | け | 大 |
| 読 | 、 | 事 |
| も | 登 | な |
| う | 場 | 言 |
| 。 | 人 |   |

小 5

|   |   |   |
|---|---|---|
| を | 年 | リ |
| 見 | 末 | ビ |
| て | 大 | ン |
| い | 売 | グ |
| ま | り | で |
| す | 出 | 商 |
| 。 | し | 店 |
|   | の | 街 |
|   | 広 | の |
|   | 告 |   |

小 6

|   |   |   |
|---|---|---|
| よ | れ | 海 |
| う | 、 | は |
| に | あ | 深 |
| 暗 | た | い |
| く | り | き |
| な | は | り |
| な | 夕 | に |
| つ | 暮 | 包 |
| た | れ | ま |
| 。 | の |   |

中学生

|   |   |   |
|---|---|---|
| や | 今 | 一 |
| 文 | や | 流 |
| 化 | 彼 | の |
| に | は | 音 |
| 触 | 一 | 楽 |
| れ | 流 | 家 |
| て | と | と |
| い | し | し |
| ま | て | て |
| す | 。 |   |



# 書写を知り 学び楽しむ



広瀬舟雲先生

講師の広瀬舟雲先生は、武蔵野大学教育学部教育学科・教授、全国大学書写書道教育学会副理事長、書道芸術院展常任総務です。著書に「刻された書と石の記憶」、共著に「国語科書写の理論と実践」などがあります。

## 第44回 Zoomによるオンライン授業・書塾編

新型コロナウイルス感染症第二波の流行は、八月末に再び減少していく気配を見せました。本稿を執筆している9月8日現在、東京の小・中・高はすでにコロナの影響で休講にした分を取り戻すべく、今年は少し早めの八月下旬からすでに二学期の対面授業が始まっているところが多いです。ところが、大学だけはいまだに慎重論が根強く、対面授業再開に二の足を踏む所が多いようです。そのような中で本学では後期授業の方針転換があり、後期の授業開始から、入学したのに一度も登校したことがない一年生の必修の授業だけ対面授業を開講することになりました。この様子を見て、十一月から二、四年生も教員が希望する科目の対面授業から再開して欲しいということとなりました。しかし、①、3密を防ぐため受講者は教室収容人数の50%以下とする。②、来られない学生のためにオンライン授業も併設して残す。ということ、②は、二本立てで行うようにとのことなので、教員の負担は増えますが、少し明るい話題かなと思います。ところが、今度は、神社の参集殿をお借りして開講している書塾の方が赤信号。秋祭りも自粛している状態なので、新型コロナウイルスが収まるまで、しばらく使用不可との連絡がありました。神社から絶対にクラスターを出さないという方針の一環だそうで、第一波で三、五月休講。第二波で八月休講。九月やっと開講できたと思っ

ていると一難去ってまた一難。今度はだんだん冬に向かうので、第三波とインフルエンザの流行も予想され、いつまで使用許可がおりないのかまったく分かりません。せっかくここまで耐え、頑張っている生徒の心意気が低下してしまうので、ついに少し手間がかかっても通信教育と併設したオンラインによる書塾開講という事態に陥りました。

ここには十人ほどの生徒がいます。この十人に手を挙げてもらうと、九人はスマホまたはパソコンを持っているとのこと、この九人にはオンライン授業が可能です。しかし、一人だけまだガラケーしか持っていないとのことでした。従来からある通信教育のように作品を送って頂き添削することなら全員可能なことが分かりました。しかし通信添削では実際に課題を毛筆やペンで書くところ、つまり筆先の動きを見ることができません。そこで、スマホ・パソコン等を持っている生徒のためにはZoomの録画機能を用いて揮毫風景を撮影し、教えている生徒のみが、見られるように各生徒のメールアドレスへ配信するの也不错と考えました。この方法の利点は、好きな時間に、指導者が揮毫している映像を繰り返し見ることができるところです。生で直接見るのより多少劣るのは致し方ないですが、このような時だからこそ意気込みと新鮮さが伝わってきます。完璧をめざして始めるのではなく、できることから始めることが大切だと思います。

(つづく)

今 月 の ホ ー プ



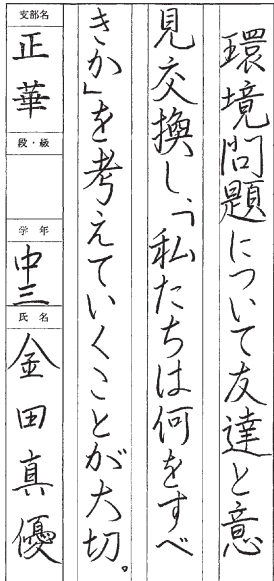
小六 日向端 終有 (春竹支部)

しっかり力強い筆使いで、はね、はらいなども安定しています。落ち着いた筆運びでていねいに書けて立派です。



小五 山下 萌々子 (光峰支部)

丁寧でゆったりした中に重量感もあり、字形が整っています。筆運びも上手で堂々とした見事な作品です。



中三 金田 真優 (正華書支部)

重みのある丁寧で伸びやかな書線で名前に至るまで安定した素晴らしい立派な作品です。今後が益々楽しみです。



小二 竹山 和瑚 (市川支部)

漢字・ひらがな一字一字が力強く丁寧にかかれた作品で感動しました。名前も堂々と立派に書けました。

幼・1年

き  
たつみまゆ

ふゆ  
小一 みうらようこ

2年

さつば  
小二 たなかこはる

めかも  
小二 いとうめい

3年

り広が  
小三 山本一夫

安全  
小三 山田南

4年

仲間  
小四 平沢ゆい

びわさ  
小四 山田青

5年

星ふ  
る夜  
小五 保志明

立ちり  
立成  
小五 田中智子

6年

飼育  
係  
小六 生田亮

喜び  
の声  
小六 足立すみれ

中学

天守  
閣  
中一 石田さくら

飛行  
機雲  
中二 平田秋子

見聞を  
広める  
中三 森小春

ころも  
うつなり  
中三 今井みで

編集余録

○9月19日（土）は彼岸の入り。昔から「暑さ寒さも彼岸まで」と言いますが今年はもう少し残暑が続きそうですね。私の住む地域では稲刈りが終わりそうです。隣の家からは新米を乾燥させる機械の音が連日聞こえてきます。夜になると風は涼しく感じ、鈴虫・コオロギなどの虫が一生懸命鳴いています。これから芸術の秋・スポーツの秋・読書の秋・食欲の秋を迎えます。東京に向かうバス停の傍のこども園では可愛い園児たちが運動会の練習をしていました。コロナ禍で大変ではありますが皆さんが笑顔で毎日過ごされますように願っております。

○秋の昇段級試験・全国学生書道展の締め切りが間近です。期日厳守でよろしくお願いたします。

（菜扇）